

伊勢物語

旧本伊勢物語

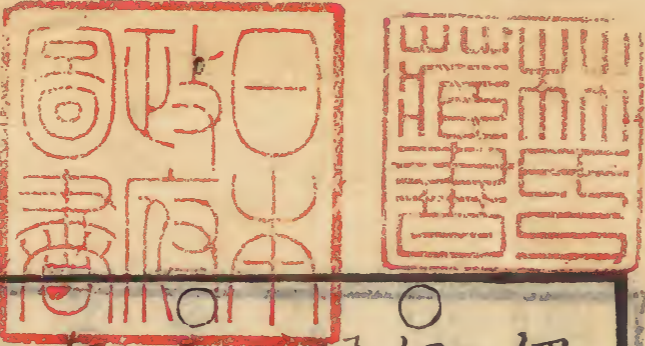
庫文閣内			
二〇二	一七六六		和
函	三	七	書
一九	架	冊	號
		類	

物語

内閣文庫	
番號	和 17667
冊數	3 ( 3)
函號	202 314

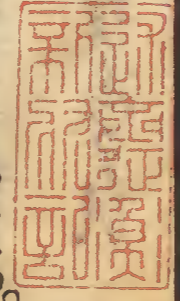






伊勢物語考異九例

漢洋文庫



○伊勢物語考異ハ冊子ナリ。其カモ違フる物也。とくく阿波也。

○阿波也。ハ是。彼。と。阿。を。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

○阿波也。ハ。是。ハ。ま。ま。考。入。あ。る。出。の。ハ。ま。ま。一。つ。

伊勢物語考異



更らひ入りし事あり。自阿げつらひし詞とハ。あまの鏡にやたる比  
 や。やあやめたるがひあり。うゝ書とは二条の后未帝も  
 はなまつとくなど。書あつせり。類あり。是らハ志取せぬ  
 ○てゝび新の彫紙を冊子ハ。書むとく人のもてりし物なり。はな  
 是と信ふ。そぐ中ふハ。まじしに寫したる或ハ。かゝるはなつと  
 えぬ。ひりしまじし。よそ世ハ。真字六條など。冊子を引取ハ  
 きく。どちこちかうのへとまじしものあり。されど世の中に  
 ひりしとまじし人ハ。け考異より。あはな文はたるがひめさも  
 西したまひ。たのけらぐさひとて。たなむむ  
 後を記すは

伊勢物語卷上考異

○二才 耶麻采伎有 異ニ ちまめいたる ○二才 止南以比計留 イニ ちまおひ  
 つまぐりひやまける ○同上 乱始尔之 イニ みだれむとちまふ ○同上  
六条本 意 ハ 心齒得 衣ノ後字 ○同上 伏乃人與里波勝有來 異ニ 世人ふは  
 まされまじりぬ ○二才 氣添 六条本 懸想 ○同上 思有婆 母ノ次ニ六条本註  
ニテウノキサキノイニミカトニ 二條后宮未帝介毛 モ 袿兼不賜直人介而御座計留時 トキノトト 社 後字  
諸本皆同 ○同上 火耳波 イニ ぼいふ 六条本 ○同上 十箇程爾 イニ ナはむのめ  
 梅能盛有仁云 イニ 梅乃とちまふのめ イニ ちまふのめ  
 ていよとちまふのめ 同上 戀而與采留 イニ ちまひ出くよ  
 め イニ ちまひくよある ○三才 主許而解里 下六条本註 二條后宮介



而參計留平余聞在計礼波背人達守為給計留常社諸本

○シテ 辛宇志而云云イニ からうしめをさみ出く○ 芥川止云云イニ

あはれ川をさほとをさしり礼ハ○ 古礼波イニ かれハ○ 戸

口イニ 外口○ 夜毛明南受止イニ 夜毛とをあげあむと○ 白

玉款ノ 哥ノ 次六 条本 注コレハ 是者二條後宮從父兄ニ 女ニ 御ノ 許ル 亦ハ 根ノ 兼ノ 様

ニテ 井ノ 塔ノ へリケルヲ カタチノ イトメ デタタ オハレシ ケレハ ススミテ オヒ

尔而居給経利氣流乎容息廼最妙拏御座計礼波盜而負

出右計流乎御背人堀河大將太郎基経国経大納言未下廊尔

而裏散參給路尔忌敷哭人廼在計流乎聽付而留而取返而御坐

計留其乎是鬼与波云経流也計利未最稚而后宮廼且尔御座計

流節之事也諸本 皆同○ 四丁 可住處永年止而イニ さまふもとめむとく○

同上 見也波吾年イニ みやハとがめぬ○ 由無物六 条本 衛府魚又 イニ やう

ふね又 イニ えうノ 身○ 比止里イニ 無○ 水堰河六 条本 水堰河又 イニ

あはれ河又 イニ あはれ河○ 餉六 条本 何怜カ 又カ 栗豆ノ 用ウ 字ラ イニ かれ云

○ 五言イニ いはれもト ○ 同上 脩行者仁逢有イニ 仁ノ 言ナレ ○ 同上 以可

泥御坐猿鶴イニ いのづかノ ままト 六条本 如何御坐津流○ 形鳥イニ

ほぐして又 イニ ああして○ 同上 潮後乃様仁イニ まほいておやう○

六丁 將没止云示イニ くれぬと子 又 イニ くれねと子 ○ 七丁 他乃国示

而毛六 条本 至他国○ 同上 隱置而イニ 隱ノ 言ナレ ○ 同上 道往人六 条本 跣行人

又 イニ なる人○ 同上 將火付婆イニ 火ツ けむ と云 ○ 八丁 道奥麻泥云 イニ

みちかほまするにけいり○ 同上 京散南往止而イニ 系へむ







あわげ多きくこのとありは男乃もとあり○同上 九我髪云六条本ニ

マロガタケオヒニケラシナ麻呂之長生介計良志諾又ニまろがたけを記みららナ○十三丁ウ

女乃母云イニ女ねむらうたよりあくなるまに又イニ女は母あくたより

うまきく○十三丁ウ 河内イニかうち○同上 氣毛莫而暮礼婆イニ暮礼

婆イニ言ナレ ○十四丁オ 止云而見出有爾イニといひくイニたはイニ○十四丁ウ

昔男女イニ女ノ言ナレ ○同上 三年左右イニ左右イニ言ナレ ○同上 敲計礼婆イニ

たねりれど○十五丁オ 不相思イニあひれもど○十六丁オ 袖尔涙乃イニ

袖にみまどの○同上 復毛不往イニまゝイニおいかびありよけまイニバイニの

多あくぬ取子ぬさイニどうちやうたらひはイニびみえイニはイニどイニら  
から○十六丁オ 夫立聞而六条本夫聞付而ヲトコキ、ツケテ○同上 云替無而男諸本此語

ナレ但レ六条本ニアリ ○十六丁ウ 相乎籠尔成仁劍六条本相期筭ヲゴカタミニナリニケ尔成仁劍スニあ

ひをかたみよイニにイニむ ○同上 昔二條乃后乃云イニむかイニまイニ乃

女御比清方の花乃イニかイニるイニめイニ一イニつイニ免イニらイニ捨イニたりイニけるイニふ ○同上 昔雄

止古女乎盗而云此一条諸本ナレ但六条本ニアリ ○十七丁オ 余師也草葉乃イニよイニやイニさ

奈よ○同上 昔男物云計留女示但六条本ナリ○十七丁ウ 爲那加毘止乃詞

示而者イニおイニなイニかイニ人イニのイニとイニまイニくイニハ ○同上 昔衰止古連魚有計留イニ男

但六条本ニアリ ○十八丁オ 昔男心尔毛イニ男イニ言ナレ但レ六条本ニアリ ○同上 相示来イニあイニりイニり

○十九丁ウ 紀有常物尔往而云イニ紀イニのイニ方イニ常イニかイニりイニのイニまイニたイニにイニありイニきイニて

托そく来けらふ ○同上 昔西院御門云イニ昔西院の御門とヤ

みかたイニたイニまイニけイニる ○十九丁オ 出不奉イニわイニてイニくイニたイニてイニまイニら







村負武左イニそうぞくかばまむと〇四上主夫歌讀而イニあはれ  
 けとととあよみく〇三ニテオ心留而云イニあろとあくよまは  
 ちらによれあちとひて〇四上心弱打出年言イニ心弱ノ言ナシ〇四上  
 難哉有劔六条本難哉將有〇四上惑來多里イニまごひまたりけ  
 とと〇三ニテウ飛螢イニゆくほるほ〇四上對面泥イニたいめむせ  
 て〇四上痛痛久イニ痛ノ言ナシ〇四上物尔社在礼イニ拙ノぞあめ  
 れとあければよみくやろ〇三ニテオ有云物乎イニありとらあまの  
 と〇四上物方以久人尔イニたびへゆく人ニ〇四上待計留仁イニ  
 人とまぢけふナ

伊勢物語卷下考異

〇二テオ見居而六条本見而〇四上末若羨ノ奇イニときあえけりか  
〇二テウ朝露波ノ奇イニみとと〇四上行水仁ノ奇イニまの男イニゆく  
 ちとまごあよみく〇三ニテオとぬる羨といつれまててふとをさくらむ  
〇四上徒競手替仁イニあぶくらかたみに〇四上耶流便之イニりある  
 べ〇三ニテオ遷植婆イニうるうゑは〇四上根副枯米也イニ称イニさ  
 がれば〇四上飾糞イニかさありらまは〇三ニテウ寐而毛寤而母思餘  
 理而イニぬしておもひおまへおもひ思ひあまりて〇四上宿止  
 叙成イニやくりなりけ〇四上榮著而イニころはき〇三ニテウ  
 昔男在來如何思劔イニむかノとととみことといくおもひけむ〇四上



思而讀イニおもひつりて○同上面尔水灌云イニおもくにあそびけ  
 むらしてつらむ○同上心毛懇云云あつるもあそびけ  
 ○キヲ搔留我如毛イニこけ糸からとも○同上情有武イニころあさけ  
 あらむ○同上會見而之イニあひえて○同上言出牟事イニいひ  
 出むもたよりあつるもあつるもあつるもあつるも○キヲ  
 遇而志戔那止イニあをせてがねと○同上獵之安理イニ計留路尔往  
 而イニかりしありけりあつるもあつるもあつるもあつるも  
 けるに○六丁オ夫馬尔鞍置而イニ出云云○同上棘枳イニむら  
 からたち○キヲ入猿物乎イニいふたもの○同上昔於保也イニ氣乃云云  
 若れほやけおほくそはくあつるもあつるも○七丁オ然婆南好事左六条本

然者何好事左イニされふまのあつるもあつるも○七丁オ抛入而序昇  
 居計留イニなむ入まののぼりぬ○同上志哀里六条本志保里又イニ志  
 おり○同上籠而泣哭イニこもりてあつるもあつるも○同上  
 乎加之字序諷計留イニとかうそあつるもあつるも○同上  
 徒仁行而者イニ奇次ニ水尾御時有可大御息所與者深殿皇也五  
 条之掖庭鞞○同上攝津国尔知處有而云云は乃あ  
 子志ふととらありけるにあつるもあつるもあつるもあつるも  
 かたよひけりあつるもあつるもあつるもあつるも○同上今  
 日社イニけさこそ○同上道遙イニせうえう○九丁オ雲不停イニも  
 はらび○同上樹杪尔降有六条本木梢又イニ木乃云云○九丁オ



住乃兄 諸本皆 すみより より ○同上 痛面白 云云 イニ くらむ 一 ちけ 色 八あり  
 おつゆく 阿蘇人 ちみより 此 演 と あや り 子 ○九丁ウ 令還來計里  
 次 イニ かくて 孫 む こ ろ よ いた つ き け り ○同上 不 思 有 計 札 杼 イニ ね も  
 へ ら 氏 ○十丁オ 世 人 定 與 イニ ころ ひ さ た め よ ○同上 野 者 雖 行 イニ せ 子 あ  
 ま け ど ○同上 齋 宮 守 兼 有 計 札 婆 イニ い は 起 の ま 乃 か み け た る ○  
同上 伊 奴 便 計 札 婆 イニ たら ふ む と ま れ 八 ○同上 從 女 方 令 出 杯 仁 イニ 女  
 か こ ろ り 出 は じ ら ば さ 乃 さ ら り 八 ○十丁オ 尾 張 國 方 越 尔 來 下 齋 六 八  
 乃 の 尾 比 御 時 六 徳 七 皇 の 池 む す め 惟 喬 乃 み ち け い も う せ 諸本有  
 三 ○同上 忌 鋪 嘆 計 札 婆 イニ い み ぐ う う ら み け せ 八 ○同上 消 息 イニ せ う せ と  
 ○十丁オ 山 波 不 隔 杼 イニ や ま 八 あ ら 孫 ぞ も ○同上 多 羨 イニ ね ほ く ○

同上 賀 那 往 而 云 イニ かく い ぬ く あ ら む と ひ け せ 六 女 六 条 本 イ テ キ テ 考 ル ニ  
サシヒタ 詞 カ ○十三丁オ 田 村 御 門 止 申 下 六 条 本 御 門 止 言 ○十三丁オ 其 失 給 而 イニ 其 の  
 世 流 せ た ま ひ て ○同上 十 棒 程 云 イニ ち さ げ む か め あ り せ ら ば く  
 の さ げ ね を 本 の 枝 五 は き く ○十三丁ウ 右 馬 頭 有 計 留 翁 下 イニ 目  
 いた ひ ち な ぐ ら ち み け る ○十五丁オ 十 尋 在 行 六 条 本 千 色 十 色 ト カ ケ リ イニ ち ひ ろ  
 阿 蘇 乃 げ 又 イニ 行 尋 次 これ 八 定 負 の み と 時 の 人 中 乃 あ と な む ひ け る  
 あ ふ の 申 納 言 乃 ま 乃 む す 免 の 後 あり 但 六 条 本 ○同上 三 月 晦 下 イニ 三  
 の 日 上 丁 ウ ○同上 孟 冬 乃 月 隱 方 云 六 条 本 方 言 レ 又 イニ き く 乃 七 色 さ  
 か め ち あ る 子 紅 茶 の ち ち さ に み ぬ 糸 ぞ り ち な ち ら ○十五丁ウ 上 中 下  
諸本此詞ナレ 但 六 条 本 ニ ア リ ○同上 六 十 余 州 イニ 六 十 八 丁 ○同上 然 渡 南 云 イニ ざ れ 八



なむ被れきささるるにこそめでと○同上昔惟高親王止申下諸本親王ナリ

○同上山崎能云山崎のあまのよこまの所とらふはよまあわけり

○十六下オ奈藝佐院之櫻云いふぶりのつくろの院乃桜ヌいふぶりの

かナリ○同上挿頭云指而下諸本かみなうもみふナリ但ナシ○十六下ウ

御酒奉留云たはみさま云○同上親王下六条本言計留諸本○

ナセトオ君右者云君ま云くは○ナセウ速罷武六条本速還何諸本○

ナセウ一子云いひと云○同上止在來其平見而云いかにの子いたうらあ

いひとあま云○同上十世毛止壽云いちよもといの系○十九下オ詣計

留仁云まうでけるよあむるけ云○同上俗有禪師有云い俗あも

祥沙云なるも○同上多糸都止比而云あまのいはあめて○十九下ウ彼

從女許云い女のおとよなは心ざ云てさもさねおひけむと

あまよみくやま云けり○同上今至仁云いほめても○同上止云而男

云いニとくやみよけり又いニとらひく男も女もあひとあれぬ

又いニとらひくまはとよむ出よける又いニとくやみよけり男も女も

あひとあれぬまづかへなむ出よける○同上所知有而云志るよ

しと○同上止讀計留者云いニとよみけるぞはさとまよみける○ナ

オ高二十丈云いふかさ云二十四丈○同上棋栗云いニせうかうナ○ナ笑立止

尔哉在年云いまらふるり過あけむ○同上浪項痛高云いなみい

とたくり○ナ昔痛若幾人尔不有云いむかしのころかよふはあ

ぬ○同上集而云あつちめて月をみくそれかナ○ナ物越尔



而云イニものぐりまをもとらめける也○同上嬉加流イニうれしく  
 て○同上艶良米イニよほふと也○二十才今日乃日能イニけあま  
 た○同上聞知人毛奈之哉イニ此一行○二十ニウ女畫人有計礼波安云イニ  
 女かこはあらく人ありけまハかたよやれまけるを又イニかまよ  
 やれりる也○同上左讀而遣計留イニろうとよみまやれまけ  
 流○同上秋夜者云イニ秋の夜ハは日忘るものなれやあに  
 霧やちへまら流らも考ルニちへノ仮字立字ノ六条本  
 草書ヲ書誤ルカ立勝留覽○二十才  
 逢而六条本對面志而又イニ何ひておもひつめたるもまろと流  
 かさむと○同上牽牛尔今夜者云イニひまぼりに志をまさめ  
 ぬ阿は乃川魚はる雲と今ハあてよ○二十ニウ漸思付尔來

イニやうくうれとおもひけり○同上秋風吹立南後イニ是こ秋  
 風吹立あむと也○同上秋待頃日云イニ秋まほろほひま  
 かしとあめその人乃もとといふむじなりとくをさういふま  
 けりさうとれハ○二十四才然都比尔イニさそははひよ○同上伊  
 麻蘇可里來イニたそけり○二十四ウ折津礼邊イニよるたまを  
 ○二十六才佐加兄仁六条本蜻蛉榮尔藤氏乃殊有平云イニあぢ氏の  
 こまよかゆ家とおもひく○同上背左ノ哥ノ次イニとなむいひや  
 まけ家無え乃みやあり但六条本○二十六ウ儼仁實用イニよまめ  
 にぞらやうと也○同上世平海乃ノ哥ノ次六条本是者齋宮之物見給  
 ケルケルマニカクキエタリケレハハミサシテタリタマヒニケリトナン  
 計流車尔是聞多利計礼波残而返給尔計利与何諸本同シ○二十

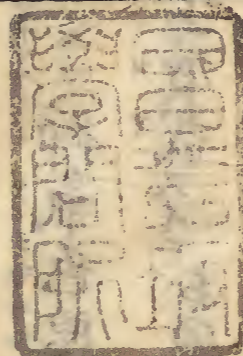


七才 白露者 尋次ニ  
 といふけきハとちめとねむひれとてろどーハいさま  
 さめけり六条本 ○同上 遊六条本 逍遙諸本同 ○同上 案平爲而云ニ あむを  
 か死く ○三才ウ 彼主女尔代里而イニ 例乃とまこ女よりりて ○同上 男痛々  
 宇愛而云 六条本 壯士最痛可愛而文管尔入而用行而何云有夫文乎  
オコセタリエ テノチノコトナリケリ  
 遺多利得而後之事成計利 又イニ ときとらめて今まぐり  
 てふれよれく何れとらふ ○三才ウ 昔男貴人乃云イニ むかひをま  
 せむとせむよ女乃もまになくもめよけとせむらふやうまをいひ  
 せめける ○同上 有毛哉爲覧 イニ 何りもや一けむ ○同上 昔男連無有  
 計留人乃許仁 此文段六条本ニニアリテ諸 いふハ何れと云 返一。ま  
 ひもの云 下 多ひびと何れ。又か一。こひとさうにもいふト云

イ本次第  
 知此 ○二十九才 鰥 イニ やもめ ○同上 生翁 イニ 翁進 尋次六条本ニ  
オホヤクミケシキアシカリケリオノガヨハヒヲオモケレトワカシラヌヒトハキオヨビケル  
 公之御氣色悪借計利已之齡乎思計礼与和歌不知人者聿及計流  
トカヤ 与賀哉 又イニ おのがあそひとねむひければわかくらぬ人ハさくらひけ  
 りと也 ○同上 濱楸 六条本 濱久 ハマヒサシ 諸本皆同 ○同上 皆善名保里尔計留 六条  
本ミナヨクナラリニケル 皆能名遠離尔計流 又イニ みなよくもりまらう ○同上 昔道興  
 尔而云 此二条六条本脱。又諸本多ク。波向從ノ哥ノ ○三才ウ 御神現礼給而 六条本 御  
カミケヤウシタヒテ 神現形爲給而 又イニ おほむ神けきやうしひて ○三才ウ 昔男女  
 乃未代歴受止 云 此条六条本脱 ○三才ウ 行乎見而 イニ まかめいづふとえ  
 て ○三才ウ 思乎付與 イニ ねむひとまかせよ 又イニ おもひとかけよ ○  
三才ウ 不言序直仁 イニ いせぞちと也



伊勢物語考異終



明和六年己丑初秋發行

風月庄左衛門

Handwritten notes and a small seal at the bottom left of the page.



